
人形姫 -傀儡師のはなし-

蛇蠍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人形姫 ―傀儡師のはなし―

【Nコード】

N0390S

【作者名】

蛇蠍

【あらすじ】

傀儡師と操人形、そして人形師。

それぞれの視点で語られる物語はやがて一つの結末へ収束する。

始まりは何処で、終わりは何処か。

一つの愛の始まりと終わりをここに

傀儡師と線人形（前書き）

初めまして、蛇蠍といいます。

この話を読むにあたって以下の点にご注意下さい。

- ・構成が少々特殊で解りづらい
- ・更新速度は遅くなると思われる
- ・あまり明るい話ではない
- ・ハッピーエンドが好きな方にはお勧めできない

以上が大丈夫でしたらどうぞ

傀儡師と繰人形

ある傀儡師が一体の美しい操り人形を見つけた。

一目で気に入った傀儡師は、その人形がどうしても欲しくなった。しかしその人形は売り物ではないという。

そこで傀儡師は毎日店に通い、人形を眺めてはうっとり息を漏らして満足したら帰る、という事を繰り返すようになった。

店の主人は遂に根負けして、傀儡師に人形を譲ったのだった。

傀儡師は家宝のように人形を愛でた。

そうして深い愛情を注がれた人形には、いつしか心が宿った。

”一人”と”一体”は”二人”となり、心を通わせていった。

それはそれは、幸せな時間だった

P r o l o g u e (前書き)

こちらが本編になります。

傀儡師と繰人形は架空の童話の引用という位置付けです

Prologue

『たぶん、私はもう人を好きになる事はできないけど、君はたくさん恋をしてね。私の分まで人を好きになって、幸せになってね』

2年間続いた僕らの関係は、僕の一言によって幕が引かれた。

『ごめん、もう別れよう』

彼女は泣いていた。

泣きながら、謝った。

”今まで迷惑かけてごめんね”、と。

僕も泣いていた。

辛いのは、悲しいのは彼女の方なのに。

本当は別れたくなんてなかった。

でも、お互いの為にはそうするより他なかったのだ。

別れを告げてから数ヶ月、彼女は僕と会っても悲しげな顔を見せるだけで会話も録に交わせなくなっていた。楽しそうに友達と話しているのも、僕の顔を見た途端に表情が強張る。

それは仕方のない事だけど、胸が軋むようだった。

だけど、一番ショックだったのは彼女が僕を名前ではなく名字で呼んだ時だった。

別れてから一年が経とうとしたある日、彼女は僕の前に現れた。

そして、久々に見る僕に向けた笑顔で言ったのだった。

「たぶん、私はもう人を好きになる事はできないけど、君はたくさん恋をしてね。私の分まで人を好きになって、幸せになってね」

そして彼女は姿を消した。

あれから僕は恋をしていない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0390s/>

人形姫 -傀儡師のはなし-

2011年10月8日22時28分発行